

仙台市長選挙立候補予定者への公開質問状に対する回答

渡辺ひろし氏

1. 障害者支援施策について

福祉政策が障害者の生活に直結し、ことによっては生活に大きな影響を与えるということを深く認識し、生活を守り支えるという視点で障害者福祉行政を進めて行きたいと考えます。

2. 障害者差別禁止に関する条例の制定について

条例制定は、行政を始めとした関係団体の役割分担を明確にするという点で有効なものと考えております。一方社会的な認識の広まりそして協力体制の構築の準備も条例を実効あるものにするためには、重要と考えます。

条例制定を念頭に置きながらスピード感を大事にしながら準備を進めて行きたいと考えます。

3. 障害者福祉における利用者負担について

障害者の生活の確保と支援が基本にあっての施策展開であると考えます。

生活を大きく揺るがすような負担を求めることは大いに問題であると思えます。